



自然と人との絆のために



JA
広報

そらちみなみ

新年号

2014 Vol. 60

明けましておめでとうございます

組合員の皆様には輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。
本年もご家族皆様が健康で良い年でありますようご祈念いたします。

平成26年明るい新春を迎えて



代表理事 組合長
大友 伸彦



代表理事 専務
北 輝男

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましてはご家族とともに輝かしい平成26年の新春をご健勝で迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

また、平素より農協事業へ特段なるご理解とご協力を頂いておりますこと改めてお礼を申し上げます。

さて、昨年を顧みますと、春耕期は寒さが春先まで続き融雪時期が遅れ、また、降雨、曇天の天候が続き全体的に播種、移植作業が遅れ、大変心配されるスタートとなりましたが6月以降一転して平年を上回る気温と降雨のない日が続き、畑作物に干ばつの影響を受けてしまいました。また、お盆明けより断続的な降雨に見舞われるなど、異常気象と思われる天候の中での収穫作業となり組合員皆様におかれましては大変ご苦労されたことと存じます。

そのような中、水稲につきましては、全国作況102、全道105、空知が106となり昨年に迫る3年連続の豊作となりました。道産ブランド米の「ゆめぴりか」については卸価格がコシヒカリを超え、食味の良さが全国的に認められるなど北海道農業の長年の努力が実を結ぶ結果となりました。また、昨年度、蘭越町で開催された第3回米11グランプリにおいて本組合の「ゆめぴりか生産組合」と「米作研究会」のゆめぴりかの米がグランプリと準グランプリの上位独占する快挙を達成いたしました。組合員皆様のこれまでの良品質・良食味米生産の取組みが認められたものと誠に喜びに堪えないところであります。

各作物の作況につきましては、小麦は干ばつの影響を受け細麦とな

り平年を下回る結果となりました。本年より秋小麦については「ゆめちから」で統一し、高品質と高収量の生産を図ってまいります。馬鈴薯、玉ねぎを始め畑作物についても干ばつの影響を受けたものの価格等により平年並みの結果となりました。

大変憂慮されておりますTPP交渉の行方については、十分な情報公開や国民的議論もないまま、交渉参加に踏みきり、いまだ十分な説明がされておられません。今後とも、農産物重要5品目について「断固守る」ことを念頭に空知・北海道はもとより全国的な運動を展開してまいります。

国内については、東北地方の震災復興も余り進んでおらず、故郷の地に帰れない農業者の方々も多くおり、いち早い復興が叶うことを願うところであります。経済界は、アベノミクスの経済政策により景気浮揚が図られ大企業を中心に景気が改善されてきております。

他方、農業については農業政策の改革により1970年から始まった米の生産調整(減反政策)が5年後の2018年をめどに国による生産数量目標の配分を止めるか新政策の定着状況をみながら判断することとなりました。生産調整が廃止された場合、過剰生産により米価格は大幅に下落することが想定され、これまで米の生産調整に協力してきた生産者ほど経営に多大な影響を受けることが必至であります。今後米の生産調整堅持に向け運動してまいります。

今後、農地集約を図る農地中間管理機構の創設、大規模経営化や農業特区による規制緩和による企業の農業参入等が検討されますが、これからも地域農業の持続的発展と組合員皆様が安心して営農に取り組める制度・政策となる様強く求めてまいります。

農協事業については、組合員皆様のご理解ご協力により順調に進めております。主な施設投資については8月に古山多目的倉庫が完成いたしました。大豆を中心にスムーズな受け入れをいたしました。そして昨年の臨時総代会でご承認いただきました栗山地区の米乾燥調製貯蔵施設増設工事については本年3月完成に向けて急ピッチで進めております。今後一層、高品位米の増産と実需の求める均質な米の安定的供給により有利販売を図り、組合員の皆様の期待に応えてまいります。

最後になりますが、本年もご家族はじめ組合員皆様が事故なく1年間ご健康で過ごされ、そして、豊穡の秋を迎えられますようご祈念申し上げます。



平成26年年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会会長

飛田 稔 章

組合員並びにJA役職員の皆様方には、希望に満ちた平成26年の新春を迎えられますことを心よりお慶び申し上げます。昨年の北海道農業は、天候不順により一部地域で農作業や生育の遅れが生じ、台風や大雨等の被害にも見舞われました。そのような中、各種課題を克服しながら、一年間の営農にご尽力されたことに對して、改めて敬意を表します。

平成25年は、国内外ともに、まさに激動の年でありました。TPP交渉につきましては、3月の交渉参加表明以降、交渉参加反対のもとで、関係機関・団体と連携をはかりながら、各種運動を展開致しました。かねてより懸念していたとおり、情報開示が極めて不十分な中、秘密裏に交渉が進行し、予断を許さない不透明な状況が続いておりますが、自民党並びに衆・参農林水産委員会の決議を順守し、状況によっては脱退も辞さない覚悟のもと、それぞれの国の事情に十分配慮した対応がなされるよう、政府・与党への強力な働きかけと併せ、国民世論形成に向け粘り強い運動を展開していく必要があります。

過般、政府は我が国農政の柱のひとつである米政策を大きく転換し、それに伴い各種助成金体系や経営所得安定対策の見直し、日本型直接支払制度の創設等がなされました。短兵急な政策転換に対して、生産現場では不安と混乱が渦巻いておりますが、改めて生産現場における取組み状況を十分検証しながら、生産者が意欲と将来展望を持つて経営展開ができるよう、より実効性のある仕組みを確立していくことが重要であります。また、政府は成長戦略の実現に向けて、農業・JA改革を課題のひとつに取り上げ、産業競争力会議や規制改革会議等において関連する議論を行っております。これら規制改革の動きに関しては、農業の役割や生産現場の実態に関する基本的な認識が十分でないことに大きな原因があり、北海道のような農業専業地帯の実情やJAグループの取組み状況等を十分踏まえた議論がなされ、本道農業

の持続的発展に資するような政策が確立されるよう、働きかけを強化していく必要があります。

平成24年11月に開催した第27回JA北海道大会において、「持続可能な北海道農業の実現」と「次代を担う協同の実践」について決議致しました。平成26年度は実践2年目にあたりますが、時代の変化を踏まえた中で、JAグループの組織・事業機能の充実強化に向けた自らの取組みを進めつつ、一般消費者に対する情報発信を行いながら、本道農業並びにJAの強力な応援団づくりを進めていくことが重要であります。

国内外の情勢がめまぐるしく変化している昨今ですが、今一度足元を見つめ直し、生産者の方々をはじめJAグループ関係者の意志と知恵を結集した中で各種課題を乗り越えていくという強い信念と実行力が求められています。

現在の地域農業やJAの基盤を築いた我々の先人も、その時々時代の背景のもとで、さまざまな困難に立ち向かってきたものと存じます。当然のことながら、JA・連合会も「組合員の営農と生活を守り向上させる」という目的を踏まえ、最大限の努力を傾注していかねればなりません。

さて、過般、日本の「和食」がユネスコ（国際教育科学文化機関）の世界無形文化遺産に登録される見通しであるとの動きがありました。我が国の食文化の素晴らしさが世界的にも認知されたわけですが、そのことは、素材である我が国の農畜産物が評価されたといっても過言ではなく、日本の食料供給基地である北海道の果たす役割も極めて大きなものがあると存じます。国民の命に直結する農業は、我々の先代が永きにわたり、労苦を惜しまず築き上げてきたものであり、その役割・重要性は将来にわたり、いささかも変わるものではありません。農業は、国家百年の計に立った中で、将来にわたり引き継いでいくべき重要な産業であり文化であります。

今年の干支は、午年（うまどし）です。予断を許さない情勢が続いておりますが、馬のごとく力強く、また、さっそうと駆け抜けていく気概をもって頑張りましょう。

結びになりますが、本年が天候に恵まれ実り多い年となりますよう、併せて、北海道農業並びにJAグループ北海道の一層の発展を心よりご祈念申し上げ、新年にあたってのご挨拶といたします。



新年を迎えて

そらら南農協青年部長

中 村 隆 浩

新年あけましておめでとうございます。輝かしい新年を皆様と共にご健勝で迎えられました事を心より御慶び申し上げます。また、平素より私達青年部活動に対しまして多大なるご理解、ご協力を賜りました事を心より厚く御礼申し上げ、謹んで年頭のご挨拶をさせていただきます。

さて、昨年平成25年度を振り返ってみますと、全国各地で3年前から異常気象と言われて来ていますが、その異常気象が当たり前の気候に感じてしまうような1年でなかったのではないのでしょうか。播種、移植時期の降雨、管理作業時期の干ばつ、そして、収穫時期の降雨と油断の許せない1年に感じました。その中でも、水稻は空知管内で作況指数106と豊作傾向となり、天候に左右された作物等はありませんが、良い1年だったように感じました。

政策では、政権が自民党に変わり、未だにTPPへの心配が解消されず私達生産者の声が届いているのか分かりません。また、農作物の価格変動も不安定で、これから何を作付して行けば良いのかと、ただ作れば良いと言う時代ではないとも感じました。

さて、我々そらら南農協青年部としての昨年1年間を振り返って見ますと、栗山地区、由仁地区の盟友をさらに深く知ろうというテーマで、役員一丸となり数多くの活動行事を行ってきました。

冬季体力養成で今回初めてミニバレーの後に綱引き大会を行いました。やはり、力勝負は各支部笑いが絶えず、また、農協職員の方々もミニバレーに参加していただきましたので、終日みんなで親睦を深めました。

また、夏には、パークゴルフ大会を行いました。その際に初の試みで、盟友ほ場視察研修を行い栗山地区で(有)粒里、由仁地区では(有)中村

協進農場の二か所を訪問し70名前後の盟友が集まりました。パークゴルフ大会の後に農協役職員を交えて懇親会を行い、盟友ほ場視察の話など、役員交えて交流を行い、盟友の結束力を高めました。

毎年恒例の、道内視察研修では近隣の農家や製粉工場、農機具メーカー等を視察し、年々と参加者が増えてきています。

毎年色々な行事を行って来ていますが、今年初めて札幌市内のホクレンショップで私達の作付している馬鈴しよ、玉ねぎを軽トラの荷台に山盛りに載せて詰め放題を行いました。また併せて、新米を限定300名に無料配布するなど、そらら南農協農産物のPR活動も行いました。その他にも食農教育活動や各支部での行事など、充実した一年を送れました。

これからの農業情勢は、厳しい気候や農産物の価格変動、そして、輸入農産物への影響と沢山の不安、課題などが目の前に向かって来ていますが、「良い農産物をより多く」を目標に我々青年部は盟友の結束力を高め、そらら南農協農産物のPR活動を行い、地域との連携を取りながら一歩先を行く農業者を目指して、諸先輩方のご指導を頂きながら農協青年部のつながりを大切にしていきたいと思っています。

結びとなりますが、皆様を始め、ご家族がご健勝で豊穡の秋を迎えられます事を心よりご祈念いたしまして年頭のご挨拶とさせていただきます。





新年を迎えて

そらち南農協女性部長

窪田 智子

新年あけましておめでとうございます。

平成26年の輝かしい新春を皆様と迎えられました事をお慶び申し上げます。

また、日頃より女性部活動に對しまして、特段なるご理解とご協力を頂き、改めて感謝と御礼を申し上げます。

J Aそらち南女性部も設立から5年が経過し、まわりからの期待や先輩が築き上げてきた多くの成果を踏まえ、色々な事を模索しながら前に進まなければと日々仲間と共に悩み考えているところです。

そんな中、昨年は多くの研修会に参加させていただきました、色々な方のお話を聞くことが出来ました。

中でも、平成25年度J A北海道女性リーダー研修会では、北海道家の光大会に出席させていただき、その講演の中で、「ヨーロッパの農業と人々の暮らしの中では、農家が電気を売る時代である」との話がありました。私もドイツやオランダへ行った際には、風力、太陽エネルギー、バイオ発電施設を農家の方々が所有しており、農業収入と同等の売電収入があるという話に驚かされたことを思い出し、時代の変化を感じたところです。

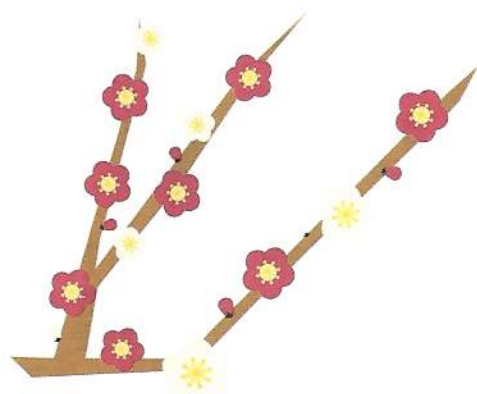
また、講演の中には、これからの女性に求められるものは「働きなが

ら考え、考えながら行動すること」、「子供たちに生きる知恵を教え、生きている今を大切にすること」とあり、女性が動けば世の中が動くこと、女性が活動をしていくには研修や学習、そしてそれを伝えていくためのネットワークが重要であると強く思いました。

現在、様々なところで「女性の力」が必要と言われています。女性部部員の減少に歯止めをかける事は難しいですが、今できる事を仲間と共に一歩ずつ進めて行き、女性が活躍できる機会を作っていければと思います。

これからも、J Aそらち南女性部へのご理解とご協力をよろしく願います。

本年も、皆様そしてご家族が健勝で豊穡の秋を迎えられます事を、ご祈念申し上げます、新年の挨拶と致します。



今年もよろしく お願いいたします

JAそらち南 役員

代表理事組合長	大友 伸彦
代表理事専務	北 輝男
常務理事	斉藤 和邦
筆頭理事	松井 隆典
理事	清水 哲雄
理事	橋場 一敏
理事	山本 強
理事	高嶋 雅彦
理事	山本 博行
理事	千葉 周作
理事	河端 英利
理事	事門 間 造明
代表監事	國岡 正好
監事	窪田 真澄
常勤監事	松岡 裕
員外監事	角田 仲慶

そらち南農協青年部

部長	中村 隆浩
副部長	片桐 邦博
書記	菱谷 典雄
事業部長	清水 哲矢
事業部長	渡会 伸成
事業部長	林 新悟
監事	水上 秀樹
監事	事南 洋一
部長	窪田 智子
副部長	吉田 真由美
副部長	田村 利江
監事	大野 美代子
監事	事上野 千春

JAそらち南「ゆめびり」生産組合

組合長	南坂 明憲
副組合長	岩崎 俊博
会計	片山 肇
監事	事目黒 健一
監事	事高野 一裕

そらち南減農薬米生産組合

組合長	瀬尾 正樹
副組合長	野島 征樹
副組合長	石川 義晃
監事	事川端 敦
監事	事井澤 雅彦

そらち南農協米作研究会

会長	青木 悟
副会長	片山 肇
会計	吉田 義弘
監事	事塚本 政紀
監事	事長尾 卓也

そらち南農協米穀乾燥施設施設由仁地区運営委員会

委員長	長 大友 伸彦
副委員長	長 松井 隆典
副委員長	長 松田 一博

そらち南農協米穀乾燥施設施設由仁地区運営委員会

委員長	長 大友 伸彦
副委員長	長 北 輝男
副委員長	長 瀬尾 正樹

そらち南農協米穀乾燥施設施設由仁地区運営委員会

委員長	長 松井 隆典
副委員長	長 高嶋 雅彦
副委員長	長 原田 政信

そらち南農協大豆・雑穀施設施設由仁地区運営委員会

委員長	長 大友 伸彦
副委員長	長 北 輝男
副委員長	長 井澤 雅彦

そらち南麦・豆類採種組合

組合長	芦沢 功
副組合長	藤田 淳
副組合長	田中 範之
会計	事荻野 一彦
監事	事笹谷 和広
監事	事荒瀬 憲一

そらち南農協てん菜振興会

会長	長 重田 順栄
副会長	長 砂田 正春
監事	事羽賀 直文
監事	事上野 義信

そらち南玉葱振興会

会長	長 西田 秀樹
副会長	長 村口 学
副会長	長 斉藤 隆浩
会計	事森出 義弘
監事	事前田 透
監事	事堀江 重文

由仁町まごころ玉葱部会

会長	長 黒田 良行
副会長	長 岩崎 俊博
監事	事計中嶋 悟智
監事	事白川 享彦

JAそらち南南瓜振興会

会長	長 川端 敦
副会長	長 大谷 彰
監事	事計村上 和繁
監事	事辻谷 尚希
監事	事松井 敏文

グリーンヒル生産振興会

会長	長 鳥村 正行
----	---------

栗山町「栗マロン」研究会

会 長 井波 俊一

副 会 長 蔵田 信幸

副 会 長 川浦 慶一

会 計 桜間 弘晃

監 事 佐藤 貞男

監 事 佐藤 好美

部 会 長 浅川 景徳

副 部 会 長 橋本 尚彦

会 計 吉野 弘恭

監 事 森本 淳

監 事 大塚 敏史

部 会 長 大畠 敏弘

副 部 会 長 砂田 正春

会 計 羽賀 文恭

監 事 桜間 弘晃

監 事 沢田 裕

会 長 大友 伸彦

副 会 長 北 輝男

副 会 長 正井 文雄

副 会 長 橋場 一敏

会 長 松井 隆典

副 会 長 高嶋 雅彦

副 会 長 田中 勲

副 会 長 田中 勲

副 会 長 田中 勲

副 会 長 田中 勲

副 会 長 田中 勲

栗山町馬鈴薯採種組合

会 長 橋場 一敏

副 会 長 田中 勲

監 事 芦沢 功

監 事 鷹 修

会 長 田中 勲

副 会 長 鷹 修

監 事 宗像 政則

監 事 村上 和繁

組 合 長 正井 文雄

副 組 合 長 橋場 一敏

会 計 日置 正敏

監 事 代表 芦沢 功

監 事 齊藤 幸博

会 長 中嶋 常隆

副 会 長 川崎 浩樹

副 会 長 川崎 俊樹

会 計 水上 秀樹

監 事 棚村 優

監 事 角 昌幸

会 長 井澤 雅彦

副 会 長 水木 稔

監 事 北村 正信

監 事 北村 正信

監 事 北村 正信

監 事 北村 正信

監 事 北村 正信

監 事 北村 正信

南空知花き生産組合

組 合 長 田中 秀幸

副 組 合 長 真保 敏昭

副 組 合 長 安田 守

監 事 間島 俊見

監 事 作田 茂与

組 合 長 瀧野 巖

副 組 合 長 石田 博之

会 計 早坂 寿博

監 事 齊藤 覚志

監 事 中山 邦夫

会 長 杉本 誠一郎

副 会 長 岩崎 政芳

副 会 長 窪田 新作

監 事 藤田 邦治

監 事 山田 義美

組 合 長 田村 毅

副 組 合 長 伊月 利勝

会 計 千葉 周作

監 事 川浦 孝治

組 合 長 森田 齊

副 組 合 長 金山 和則

会 計 橋本 尚彦

監 事 吉本 好孝

監 事 吉本 好孝

監 事 吉本 好孝

監 事 吉本 好孝

監 事 吉本 好孝

栗山町農協アスパラガス部会

会 長 大坪 竜樹

副 会 長 菅野 寿

会 計 堀田 淳一

監 事 高橋 利雄

会 長 青山 正志

副 会 長 川畑 憲吾

会 計 田中 尋

監 事 岩崎 芳延

会 長 山本 強

副 会 長 西山 隆

監 事 中島 孝幸

会 長 藤田 淳

副 会 長 清水 治広

副 会 長 荻野 一彦

会 計 鷲尾 正臣

監 事 藤柳 一哉

監 事 瀬尾 正樹

会 長 上野 義信

副 会 長 安川 里史

副 会 長 北井 友章

書記 会 計 作田 茂与

監 事 大塚 敏史

監 事 小柳 隆志

監 事 小柳 隆志

監 事 小柳 隆志

監 事 小柳 隆志

監 事 小柳 隆志

栗山町耕土改良事業協会

会 長 水上 忠信

副 会 長 長澤 哲哉

会 計 清水 治広

監 事 山本 強

監 事 高橋 浩一

組 合 長 長尾 卓也

副 組 合 長 片山 肇

会 計 宮田 充

監 事 寺 雅彦

会 長 竹田 光雄

副 会 長 大友 伸彦

監 事 大畠 敏弘

監 事 野島 芳光

会 長 椿原 紀昭

副 会 長 北 輝男

監 事 桂 一照

監 事 田村 繁則

会 長 北 輝男

副 会 長 清水 哲雄

副 会 長 馬場 雅己

副 会 長 西山 隆

副 会 長 橋本 克己

監 事 大久保 明義

監 事 青山 悟

監 事 青山 悟

監 事 青山 悟

監 事 青山 悟

由仁町米麦改良協会

会長 長 大友 伸彦
 会長代理 松井 隆典
 副会長 長 鶴田 健一
 副会長 長 羽賀 直文
 監事 龍方 利忠
 監事 田中 範之
 組合長 元木 斎
 副会長 賀集 優彦
 会計 東 澄
 監事 南坂 明憲
 会長 長 熊林 和男
 副会長 倉知 修
 書記 三谷 孝裕
 監事 黒澤 耕一
 監事 榎平 敬保
 組合長 榎平 敬保
 副組合長 三谷 耕一
 書記 馬場 敏
 監事 倉知 修
 監事 細田 治憲

そらち南酪農ヘルパー利用組合

組合長 黒澤 耕一
 副組合長 亀田 壮将
 書記 大西 康人
 監事 熊林 和男
 監事 三谷 孝裕
 組合長 蛇谷 靖
 副組合長 大櫛 和矢
 監事 大井 賢治
 監事 滝口 賢治

そらち南
農業協同組合

参事 中川 昇

監査室

監査室長 八巻 広一
 監査係主任 馬淵 亮介

管理部

管理部長 高崎 泰彦
 管理課長 白勢 強
 管理係主任 嶋田 由恵
 管理係 赤尾 千春

(山崎麻菜美)

(溝口 喜子)

企画審査課長 永山 隆史
 企画審査係 高橋 慎治
 (加納 恵子)

金融部

金融部長 鳴海 秀樹
 金融部次長 山川 峰徳
 貯金融資係長 村中由香里
 貯金融資係 山本由紀恵
 水内 静香
 萩原 椎名
 (青山 佳純)

経営相談課長 蝦名 誠

経営相談係長 糸塚 憲士

経営相談係 瀨川 沙織

【佐藤 好則】

共済課長 本田 隆

共済係長 吉尾由美子

共済係 松田 夢希

高田 祥太

森 政徳

中野 隆宏

小林 宏美

(桐田 果歩)

〈有塚由美子〉

〔高橋 隆二〕

営農部長 高橋 浩

農業振興課長 佐野 滋

農業振興係 村上 大

高橋 有宇

(小林 展子)

営農指導課長 岩崎 慶司

営農指導係長 酒井 隆次

営農指導係 當摩 直樹

渡辺 鮎美

〔伊藤 秀次〕

(国田 好枝)

〔尾崎 政春〕

技術アドバイザー

栗山町農業振興公社出向

事務局 島 雅昭

販売部長 高尾 洋二

販売部長 清水 邦晃

米麦畜産課長補佐 西澤 克美

米麦係長 山内 一広

米麦係 宮本 佳明

矢萩 健

後藤 佑也

飛渡 弘美

(石崎 亮)

〔村岡 博明〕

畜産係長 田村 修司

畜産係主任 成瀬 陽一

(柳本 由子)

馬鈴しよねぎ課長

いもたま係長 佐藤 幸博

いもたま係 鈴木 俊行

加藤 大典

藤本 雄太

吉野 孝則

山本 郁里

(村中 政貴)

(鈴木由美子)

野菜花き課長 稲田 昌史

野菜花き係長 菅原 尚泰

野菜花き係 大湊 寿隆

稲毛 保之

高橋 裕輔

原田 寿博

佐川 誠

角川 千尋

(府川 麻姫)

稲田 律子

生産資材部

生産資材部長 松村 敏生
生産資材部長 高倉 隆幸
資材係長 後藤 将孝
資材係主任 長澤 綱士
資材係 立花 一男
桜井 淳平
小野寺 歩
(古瀬 愛)
〔石田 清〕
〔中川裕希子〕
〔森下 加菜〕

由仁営業センター

由仁営業センター長 工藤 直行
由仁営業センター課長 西村 嘉博
由仁営業センター課長 柄澤 公英
営業係主任 富樫 真由
営業係 吉田 拓
(富澤 演枝)
(吉井 希美)
販売係長 高橋 正
販売係 向井 敬祐
村田 佳隆
〔安川 美穂〕

金融係 三原 結花
(山崎 美貴)
資材係調査役 高橋 邦房
資材係 古賀 聖都
(安達さとみ)

株式会社
メリーワーク

代表取締役社長 大友 伸彦
専務取締役 北 輝男
常務取締役 山崎 了次
統括部長 倉知 斉
総務係主任 小林 美咲
総務係 中井 美希
〔橋場ゆうか〕
〔本堂みゆき〕
〔小川 則子〕
〔高崎 輝子〕
〔長谷川弘子〕
〔照沼 和典〕
〔秋原 雄太〕
業務部長 宮川 哲也
Ａコープ店長 田中 明敏
Ａコープ店長 坂田 保彦
Ａコープ店 増田 年保
〔飛谷 幸治〕
〔當摩由利子〕
〔立原寿美子〕

Ａコープ三川店 〔中村みふ子〕
〔松本 彩子〕
〔鎌田 七美〕
Ａコープ継立店 〔仁木 美穂〕
燃料課長 〔小田島茂樹〕
栗山給油所長 〔傳庄喜久夫〕
栗山給油所 〔吉井 雅哉〕
〔原田 達也〕
〔佐藤 満〕
〔中嶋 美穂〕
〔小川 達矢〕
由仁給油所長 〔鎌田 敏雄〕
由仁給油所 吉江 友美
〔白井 好満〕
〔成澤 美帆〕
〔目々澤雄太〕

メリーワーク

JA出向 5名
〔MW正職員〕 11名
〔MW嘱託〕 1名
〔MW臨時〕 14名
〔MWパート〕 10名

JA

正職員 97名
(準職員) 18名
〔準職嘱託〕 9名
(準職臨時) 8名
(準職パート) 3名
〔MW出向〕 1名

由仁支所

技術指導嘱託 〔佐藤 英夫〕

由仁支所長 中田 政行
金融共済課長 井上 聡
金融共済課長補佐 市川 尚巨
金融共済係 藤本 由香
武田 彩佳
井上ちひろ
(今村 栄子)
(山口愛祐美)

三川出張所

三川出張所長 〔大田 義治〕
金融共済係主任 芝山まゆみ
金融共済係 細川 育
(佐藤 陽子)

継立出張所

継立出張所長 山崎 俊英
金融係長 平田 尚美

経営相談係主任 佐々木博文
経営相談係 角屋 卓実
鈴木 貴子

〔飛谷 幸治〕
〔當摩由利子〕
〔立原寿美子〕



青年部海外視察研修を終えて

そらち南農協青年部 書記長

〃

事業部長

清水 哲矢
林 新悟

この度私たちは、10月27日～11月2日の7日間アメリカ・カリフォルニア州への海外視察研修に参加させて頂きました。

初日は新千歳空港から韓国経由にてサンフランシスコへ到着し、代表的な観光地ゴールデンゲートブリッジフィッシュヤーマンズウィフを見学しました。

2日目は、サクラメントへ移動し「カリフォルニア大学農学部」にてカリフォルニア農業についての説明を受け、その後、大規模稲作経営の農場を視察しました。

この農場は総面積4,800haの内、

1,600haに水稻を作付けしており、従業員は常勤で75名、その内12名が水稻に携わっており、水稻のみの売上でおよそ6億5,000万円との事でした。

視察に訪れた時は稲刈り作業終盤で大型コンバインでの作業を間近で見れました。栽培されている米は中粒種で、日本の短粒種とタイ米の長粒種の間で、一見や又大粒の短粒種といった感じです。10aに乾籾で1tの収量があります。

水田1枚が30haもあり、レーザーレベラー



大型コンバイン



観光地にて記念撮影

で整備された田面にセスナで粉を播き、中間管理は除草剤を2～3回施用する程度で、乾季で乾燥しているため病虫害の発生は非常に少なく防除は1度するしかないかといった体系でした。

さらに、雨で作業が追われる心配がないので機械の作業効率が良い高価な大型機械でもスクールメットでローコストになると感じ、実際に国際競争のハードルを思い知らされました。



セロリ収穫の様子

3日目は、サリナスの葉物野菜生産農家のタニムラファームを視察。カリフォルニアはアメリカ全土の葉物野菜シェアの80%を生産していて、その多くがサリナスで生産されています。タニムラファームはその名の通り日系の農場で7,000haの面積で野菜を生産しています。メキシコ人労働者を雇い圃場でそのまま

出荷できる形にコンテナ詰めし、大量のコンテナをアンヘリガスにより瞬間冷却できる装置に入れ予冷。そこからトレーラーで出荷している様子を見学しました。

午後はフレズノにてカリフォルニアファーマーズユニオン系統の農家の視察を行い、カリフォルニア酪農協会の方を迎えてTPP関連の話をつがいました。

アメリカ、メキシコ、カナダの3カ国間で行われたNAFTA（北米自由貿易協定）での結果をもとに、TPP等の自由貿易化が行われた時にどのような事が起こりうるか、というお話を頂きました。

①物流のスピードが上がり日本の食品産業が変わる

②海外に目を向けることでビジネスチャンスが生まれる

③互の国で科学的安全がどれだけ認められるかの話し合いが重要になってくるとの予測でした。

この後、科学的安全の話から遺伝子組換えの話になりましたが、遺伝子組換え表示の有無ではアメリカ国内の消費量が変わらなかったとか、2050年には90億人になる世界人口の食生活を支える為には遺伝子組換えは必然だとか遺伝子組み換えを肯定する内容でした。

また、酪農家の方の話で、「NAFTAで危機的な状況に陥ったときに自分

の経営を1セント単位で見直し、生き残る手段を考えた。小麦の糞をすり潰して餌に混ぜることで8割も安い飼料を考えたが、危機的な状況でなければ考えつかなかっただろう。大規模な酪農家も倒産していったが、生き残れるか否かは規模ではなく個々の将来ビジョンの問題だろう。」と話していたのが印象的でした。

4日目は、農機具の販売店を回りました。果樹地帯のフレズノでは期待していた大型機械は展示していませんでしたが、クボタのトラクターがずらりと並べられ、日本車の人気が高まりました。

次にカリフォルニア大学農業普及事務所の見学を行いました。ここは日本で言う農業試験場と普及センターのような役割をしています。

農業普及事務所のあるベーカーズフィールドも果樹が盛んな地域で主に果樹の研究、試験を行っています。

その研究・試験は品種や食味、農薬や肥料だけにとどまらず、農家個々の経営診断、選果機などの農業機械のランニングコストの試算、収穫後の農産物の老化対策など多岐にわたり農家をサポートしていました。

その中でも感心したのはポストハーベストに関する研究で輸送中の食品の老化を調べていました。リンゴのワックス剤による保水の研究、植物から出る老化を促すエチレンガスの研究。広大なアメリカの生産地から消費地への物流や輸出を考えた農産物にはなくてはならない研究だと感じました。

既にエチレンガスによる老化を抑える成分も解明されているとこのことでTPPを目前に恐怖を覚えました。

午後はベーカーズフィールド馬鈴薯生産農家の集出荷工場を視察しました。

収穫した芋は水圧でため池に噴出し、それにより芋のみが浮いてくるので、それを回収し、ブラッシングによる1回目の洗浄が行われます。

2回目の洗浄は漂白作用のある成分が入った水で洗浄し、消毒薬につけてから一晩予冷庫



選果工場の様子

で乾燥してから箱詰めして出荷します。

消毒薬の成分は30分程で効かなくなるので、人体に害はないとのことでした。

海外への輸出も行っており泥のついた作物は海外へ輸出出来ないため、綺麗に洗浄してから輸出を行うとのことでした。

次に圃場に移動して畑の管理者の方から話をうかがいました。視察した畑には灌水用のホースが敷かれており、畑の面積は1枚で64haあるとのことでした。

この地域では温暖な気候のため馬鈴薯の二期作が可能ですが、主要産地のアイダホには生産コストも輸送コストもかなわないために希少価値のある品種を選定していると話してくれました。それでも馬鈴薯の面積は縮小傾向との事で、こんなに大きな農家でも産地間競争に勝ち残れないなら我々はもっと違う視点から考えるべきだと感じました。

最終日は、ロサンゼルス郊外にある野菜生産農家を視察に行きました。

この農場では主に生食用のトマトとケール、ロメインレタスを生産しており総面積は200ha。その内、有機栽培のトマトの面積は20ha、慣行栽培のトマトの40haとなっています。収穫したトマトを切り分けて味見をさせて頂き、日本のトマトに比べると甘みが少なく、こちらの方が現地では好まれるとのことでした。

又、近年ではケールがはうれん草よりも鉄分が豊富であるなど、栄養価が高いことで注目されてあり、健康志向の広まっているアメリカで



収穫されたトマト

現在最も拡大している野菜の二つとおっしゃっていました。

以上で農業視察を無事に終え、帰路につくところでしたが、ロサンゼルス空港での発砲事件により、まるでハリウッド映画のようなパトカー、消防車、ヘリ、テレビ中継車、検問の中、立ち往生。なんと空空港再開したものの韓国での乗り継ぎに遅れ延泊というハプニングに見舞われました。

そんなハプニングも含めて今回の研修は又とない貴重な経験となりました。そんな貴重な研修をさせて頂いた、そちら南農協はじめ盟友、関係各位の皆様には沢山のご理解とご協力頂きましたこと感謝申し上げます。

そして、この度の研修での経験と感じたことを糧に、今後の世界情勢の中で地域農業はどうあるべきかを仲間たちと話し合い地域農業の振興に貢献していきたいと思えます。

視野を広げる

青年部道外農業事情視察研修



染谷農場にて

11月24日～26日の3日間、青年部の盟友6名が農業事情視察として、関東方面へ研修に行きました。

千葉県柏市にある農業生産法人「染谷農場」では、施設見学、販路拡大に対する考え、大規模経営に取り組むまでの経緯や経営方針、震災での風評被害による経営方針転換など、北海道とは違う大規模農家の実情の話を聞くことが出来ました。

その他に、東京都内の市場「東京新宿ベジフル株式会社」、千葉県の直売所「しよいかくご」などを視察し、どれも内容の濃い研修で勉強になり充実した3日間となりました。

税制改正について学ぶ

経営セミナー

12月11日、JA本所にて平成25年度JAそらち南経営セミナーが開催され、48名の参加者が集まりました。

今回のセミナーでは、札幌市の税理士事務所である「むらさみ経営グループ」の飯坂洋功氏に講師を務めていただき、消費税の税額計算方法や増税に関してのポイント、相続税・所得税改正についての講義が行われました。

参加された皆さんは、今後の税申告に役立てるため、真剣な表情で講義に耳を傾けておりました。



講義に耳を傾ける参加者のみなさん

年末年始の準備

女性部しめ縄作り



完成したしめ縄と共に

12月2・3日女性部がJA本所にて毎年恒例のしめ縄作りを行いました。

国産のスゲを材料に、ひねりを加えて束ね形を作り、巻き合わせたものに装飾品を飾りつけたりなど、女性部の皆さんが役割分担をして、神棚用の三俵・五俵・七俵のお飾りや、玄関用のお飾りなど大小様々なしめ縄を作りました。

完成したしめ縄は、正月に会員宅に飾られ、一部は本所に寄贈されました。

平成26年度 営農計画書集中受付の実施について

1. 日 時：下記の日程表の通り、ご連絡致します。
2. 持ち物：平成26年度営農計画書・クミカン登録印
3. 注意点：営農計画書は、各自事前にご記入のうえお越し下さい。
データ入力をされた方につきましては、各自印刷のうえお越し下さい。

【栗山地区】

日付	場所	時間	対象地区			
1月20日 (月)	本 所 1 階 第三会議 室	9:00 ~ 12:00	栗山 中里	桜丘 湯地	山の手 森	富士
		13:00 ~ 16:00	鳩山	雨煙別	昭和	緑丘
1月21日 (火)		9:00 ~ 12:00	北学田	桜山	旭台	
		13:00 ~ 16:00	杵臼			
1月22日 (水)		9:00 ~ 12:00	共和	三日月	角田	阿野呂
		13:00 ~ 16:00	大井分	南学田		
1月23日 (木)		9:00 ~ 12:00	継立	日出	御園北	
		13:00 ~ 16:00	御園1 東山	御園2 滝下	南角田	円山
1月24日 (金)		9:00 ~ 12:00	予備日			
		13:00 ~ 16:00	予備日			

【由仁地区】

日付	場所	時間	対象地区			
1月20日 (月)	由仁支所 大会議室	9:00 ~ 12:00	山形	古川	伏見	
		13:00 ~ 16:00	下古山	山楨		
1月21日 (火)		9:00 ~ 12:00	中岩内	古山		
		13:00 ~ 16:00	上岩内	下岩内		
1月22日 (水)	古山集落 センター	9:00 ~ 12:00	西三川	熊本		
1月23日 (木)		13:00 ~ 16:00	本三川	中三川		
		9:00 ~ 12:00	東三川東	川端		
		13:00 ~ 16:00	東三川南	東三川平成	東三川北	東三川中央
1月24日 (金)	由仁支所 大会議室	9:00 ~ 12:00	予備日			
		13:00 ~ 16:00	予備日			

※上記時間帯にお越しいただけない場合は別日での対応とさせていただきますので、ご連絡頂きたく存じます。

お問い合わせ先 営農部 営農指導課 72-1409
由仁営農センター営農係 87-3312

年末・年始の営業時間のお知らせ

年月日	本所事務所 支所事務所 生産資材部 営農センター	金融・共済業務		給油所	Aコープ店舗
		窓口業務	ATM (現金自動払機)		
平成25年12月	28日(土)	休業	休業	通常営業 (9:00~13:00)	通常営業 継立店休業
	29日(日)	休業	休業	休業	通常営業 継立店休業
	30日(月)	8:30~12:00	通常営業	9:00~18:00	通常営業 継立店12:00まで
	31日(火)	休業	休業	休業	由仁店・三川店15:00まで 継立店休業
平成26年1月	1日(水)	休業			
	2日(木)	休業			
	3日(金)	休業			
	4日(土)	休業	休業	通常営業 (9:00~13:00)	10:00~15:00 由仁店・三川店 10:00~15:00 継立店休業
	5日(日)	休業	休業	休業	8:00~19:00 由仁店・三川店定休日 継立店休業
	6日(月)	通常営業			

※1月11日(土)のATMは9:00~12:00に変更となります。

各種事故・トラブル発生時の連絡先

	年末年始休業日(31日~5日) および営業時間外	営業時間内(6日~)
ご契約のお車の 事故やトラブルに 遭われた際の連絡先	JA共済事故受付センター フリーダイヤル ☎0120-258-931	本所 共済課 ☎72-1406 由仁支所 金融共済課 ☎83-2322
キャッシュカード 盗難・紛失の際の 出金停止など	JA北海道信連紛失窓口 フリーダイヤル ☎0120-944-904 (31日のみ受付、1月1~3日休業)	本所 金融課 ☎72-1392 由仁支所 金融共済課 ☎83-2322 継立出張所 金融係 ☎75-2226 三川出張所 金融共済係 ☎87-3036

Aコープチェーン農協連合会展示会 新春 華秀苑大総合展

きもの・婦人服・宝飾の祭典 【同時開催】コート・バック・メガネ・オーダー靴・ウィッグ

とき / 平成26年1月24日(金)~27日(月) 9:00~21:00 (27日は午前中まで)

ところ / 登別グランドホテル 3階大会場 (登別市登別温泉町154 TEL0143-84-2101)

ご参加者特典

■登別グランドホテルに1泊ご優待致します。宿泊費一部ご負担 5,000円(土曜日6,000円)

■84,000円以上お買上の方には負担金全額返金

■夕食バイキング・歌謡ショー・お楽しみ大抽選会

※今回よりバスによる送迎がございません。参加ご希望の方は個人参加となります。

なお、この展示会にご購入予定のある方の御一泊優待展示会となりますので、趣旨ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

参加ご希望の方は1月17日(金)まで、Aコープ店にお申込みください。

問い合わせ先 Aコープ由仁店 (83-2323)



新春お楽しみクイズ

**豪華賞品
が当たる!**

大賞 ペア温泉宿泊券1組!

- ★お年玉特賞 商品券5千円2名
- ★お年玉賞 商品券3千円1名
- ★お小遣い賞 商品券1千円5名

タテのカギ



- 1 富士、鷹、なすびが出ると縁起が良い
- 4 こたつで丸くなる
- 6 書き初めに失敗しちゃいました
- 7 地域によって四角だったり丸かったり
- 9 可愛くない〇〇と書いていても↓17はあげます
- 10 鳥に魚を捕らせます
- 12 親の兄弟
- 13 一年の計は元旦にありということでこれを立てます
- 15 お歳暮で送る肉
- 16 風呂と言いつつ湯船はありません
- 17 もらえるのは子供のうち

ヨコのカギ



- 1 神様にお願い
- 2 足下あったか〇〇暖房
- 3 古物の値段を鑑定
- 4 手紙で年初のご挨拶
- 5 イナザギ、イザナミが登場する書
- 8 地面の下
- 11 将来は蝶になる
- 12 太陽の別の読み方です
- 14 着物の女性は〇〇〇が魅力的です
- 15 クルックウ



答え

応募方法

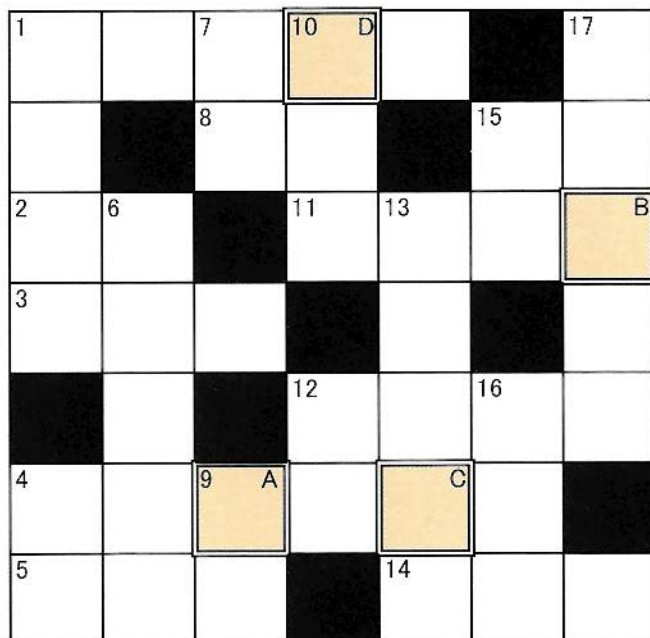
官製ハガキに答え、住所、氏名、年令、組合だよりの感想をご記入の上、JAそらち南「お年玉お楽しみクイズ」係まで応募下さい。

締め切り

1月10日(金) 必着です。

当選発表

2月号の誌上で発表します。



A	B	C	D

1 年を振り返って



7 月 由仁洗車場完成



4 月 新役員発足



1 月 給食米寄贈



8 月 米乾燥調製貯蔵施設安全祈願祭



8 月 古山多目的倉庫完成



7 月 総代研修

1 月 2 月 A・COOP 売り出し予定

1 月

4 日…初売り
7～ 8 日…ダイナマイト 2 day's
10～11 日…新年お客様感謝セール
14～15 日…得の市
17～18 日…週末感謝セール
21～22 日…88 円均一
24～25 日…お買い物市(夕市 PM6:00～)
28～29 日…得の市
31 日…年度末決算臨時休業

 **A・COOP 由仁店・三川店**
○三川店…毎週日曜日休み

2 月

1 日…ワンデー
4 日～ 5 日…得の市
7 日～ 8 日…週末感謝祭(夕市 PM6:00～)
11 日～12 日…ダイナマイト 2 day's
14 日～15 日…みんなでバレンタイン

初売り特典

1 月 4 日、A コープ初売りご来店で、
2,000 円以上お買い上げのお客様に、
由仁店・三川店合わせて
先着 200 名に卵 1 バックプレゼント!
お誘い合わせの上、是非お越しください。

あけましておめでとうございませう。今年も皆様方にとって良い年でありませうようご祈念申し上げます。

新年を迎え新たな気持ちで、前を向いて進む決意で新しい事に取組もうと、毎年思うのですが、新しい事が見つからず月日も経過して毎年同じ事の繰返し・・・そこで目標は高く掲げ、一大決心して『たばこ』を止め、週 1 の『休肝日』を作ろうと今(12 月 12 日)です。は思っているのですが・・・どうなることやら??? 皆様方も何か目標(私みたいに無理っぽい目標はやめて)を設けてみてはどうでしょうか???

今年も広報誌をご愛読のほど宜しくお願い致します。

企画審査課 永山隆史

編集後記

- ・ 4 日 A コープ初売り
- ・ 6 日 給油所業務始め
- ・ 一般業務始め
- ・ 金融業務始め
- ・ 20 日 第 13 回理事会(予定)
- ・ 28 日 第 14 回理事会(予定)
- ・ 31 日 決算棚卸(予定)

行事予定



そらち南 くみあいだより

2014 新年号 Vol. 60

■発行 2013. 12. 20 (毎月 1 回)

〒069-1511 夕張郡栗山町中央 3 丁目 104 番地
発行/そらち南農業協同組合 管理部企画審査課
TEL/0123-72-1313 FAX/0123-72-3364
HPアドレス <http://www.ja-sorachiminami.or.jp>
メールアドレス info@ja-sorachiminami.or.jp
印刷/山東印刷